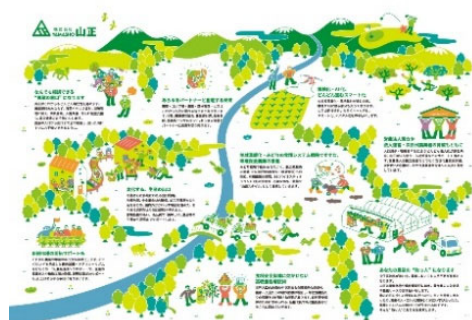




§1 株式会社山正「60周年リブランディング」発表会開催

2024年1月26日(金)、岐阜長良川河畔「ホテルパーク」において、来賓、仕入先関係者など92名の皆様に参加していただき、株式会社山正設立60周年リブランディング発表会を開催しました。堅田社長より山正60年の歴史とプロジェクト実施の真相の紹介から始まり、「土と関わるひとりひとりと向き合い続けて60年。これからもともに大地の未来を創造する山正」として、これからも真剣に農業・環境コンサルティングに取り組む姿勢が示されました。



その後、今回のプロジェクトを支援していただいた株式会社70SEED S様より、新しい会社のロゴマークや商品ロゴ「ヤマショウスタイル」の紹介、社員全員で創り上げた日本農業の未来と山正の存在価値を盛り込んだ「未来予想図」(<https://yamasho.style/futuremaps/>)の発表がありました。そして今回制作した社員の専門性を評価・表現する10の専門アイコン (<https://yamasho.style/ourstaff/>)「農業、肥料、栽培、種苗、ヘリ・ドローン操縦、緑化・造園、ハウス建築、事務業務、機械オペレータ、みどり戦略」の紹介に加え、社員の取得アイコンの公表があり、全社員の60周年における抱負を参加者の前で発表してもらいました。

最後に今回の60周年を迎えるにあたりお世話になった、ライゴットウの石田様、小原会計事務所の宇野吉浩先生、(株)70Seedsの岡山代表、十六銀行加納支店様、株式会社橋爪の橋爪社長、そして弊社技術顧問の名畑清信先生に、堅田社長より感謝状の贈呈をさせていただきました。受賞の皆様にはご了解いただき、記念品の贈呈は行わず、代わりに令和6年能登半島地震災害義援金として、後日岐阜新聞を通じて寄付させていただきました。(2024年1月30日付岐阜新聞に掲載)



発表会終了後に、コロナ明けということもあり、4年振りに新年会を開催し、参加していただいた皆様と懇親を深めることが出来ました。また、2月10日(土)には、岐阜国際ゴルフクラブで第38回「山正会長杯」ゴルフコンペを開催しました。優勝カップも新調され、今回は井筒屋化学の木村さんが優勝されました。

昨年の夏から60周年リブランディングに取り組み始め、会社のロゴク、商品ロゴ(ヤマショウスタイル)とそれに伴う商品開発の実施、社員全員での未来予想図の作成、社長キャラクターの製造、ホームページの刷新、会社案内・新しい名刺の作成と様々なアウトプットを作り上げました。これから皆様のもとにお届けしていきます。

「信頼できる仲間」と、「新しい日本農業」の「未来(答え)」を「創造」する「山正」をこれからもよろしくお願いします。



§ 2 スマート農業推進フォーラム 2023 in 北陸開催

2023年12月19日、石川県金沢市商工会議所会館にて開催されたスマート農業推進フォーラムに、弊社担当者が参加してきました。スマート農業は、センサーテクノロジー、ドローン、ロボット、AIの利用、データ解析など先端技術を利用し、農作業を自動化し効率的に管理することで、生産性を向上させる取組です。その結果、作物の品質向上、資源の効率的な利用、環境への配慮、農業の持続可能性などが実現されることを目標としています。弊社においても、みどり戦略に則り、様々な取り組みを開始していますのでその実例を紹介します。

スマート農業技術も「みどり戦略」の推進に貢献



1) 農業用無人散布車: XAG 社製 "R150" の活用

GPS を利用することで、農薬散布を山間部や果樹園などの複雑な地形でも自動走行でき、正確な散布が可能となります。また収穫物や資材の運搬にも利用可能で、作業員の負担を減らし、なおかつ省力化も実現した画期的な農機です。



2) 無人航空機(ドローン・無人ヘリ)を利用した薬剤散布の実施

慣行の背負い式動噴で 10a 辺り散布した場合に約 30 分かかかる作業時間を、無人航空機を利用した場合には 3 分に大幅短縮できます。また、自動散布システムを使用して、適正な量の農薬を正確な場所に散布することができるため、農薬の不必要な使用や過剰散布が減少し、環境への負荷が軽減されます。



3) BS(バイオスティミュラント)剤での試験実施と販売

過去の山正ニュースでもご紹介してきましたが、みどり戦略の中でも注目されている分野であります。しかしながら使用場面や使用方法により効果のブレが大きいのも現実です。今後も様々な試験を行い、コストに見合った適切な剤の使用法を皆様にご紹介していきます。

4) 土壌分析に基づく施肥設計の実施

化学肥料の使用量削減が求められる中、土壌中の肥料成分がしっかり作物体に吸収される環境づくり、土づくりが大切となります。その土壌状態を探る手掛かりとしての土壌分析はとても重要です。必要に応じて土壌分析・微生物測定を行い、その結果に基づいた施肥設計、商品選定を行わせていただきます。

5) 有機 JAS 適合。有機 JAS で使用可能な肥料「味覚有機」の開発と販売

「味覚有機」は、山正独自製造品である「ヤマショウスタイル」商品のひとつです。有機 JAS 適合商品の認定を受けており、有機農業での使用も可能です。肥料成分(7-4-2)と(6-7-3)の 2 種類のタイプを用意しました。

742・・・おすすめは水稻・葉菜類 他

673・・・おすすめは果菜類 他オールマイティーにご使用いただけます。



<商品の特性>

原料の魚を液状にして肥料化しており、旨味の向上が期待できます。ペプチド態窒素、有機リン酸を含有しており即効性があります。窒素成分はアミノ酸有機 100%です。マグネシウムが 1.3%含有です。細かいペレット形状で機械散布にも使いやすく側条施肥が可能です。ご興味のある方は、弊社担当者までお問い合わせください。